

会沢正志齋書簡集

大阪大学会沢正志齋書簡研究会 編

2016年3月刊行

▶ A 5判・350頁／定価：本体11,500円 (税別)

ISBN978-4-7842-1828-8

大阪大学大学院文学研究科が所蔵する会沢正志齋書簡を活字翻刻。

会沢正志齋は、後期水戸学を代表する儒学者の一人。本書簡群は、会沢が、弟子で甥でもある寺門政次郎およびその父喜太平に対して宛てた書簡を主とし、江戸に滞在していた寺門が水戸の会沢に対して定期的に府下の情報を送り続けた、その返答としての性格をもっている。また、会沢著作の書肆とのやりとりに関する記述が多く存在するのも特徴。

緊迫する幕末の情勢と、そのなかで行われた思想の営為を解明するための一級史料。

安政五年

十一 安政五年六月二十三日(二二)

小林両壽難有候、北堂御悦御察申候、宜御願申候、
已上、御用部や小僧二面二人ふち、弘道館勤、俗
体

如論日、雨氣、十四日ハ那須温泉山崩、三十軒之所七
軒程餘ハ潰れ候由、壓死無数、此地々參候者餘程有之
由、死生未詳、右ニ付那珂川漲候由、其後もとかく雨
未休候、愈御安撫安心、此方無事

一、本多西城老内命之由、とかく左様之人集り候事と
相見候、西城之事今程分候哉

一、本牧へ墨船来、鄂も可来候由、其後如何之様子ニ
候哉、福士之上上田氏へ出候由、今程詳説相分候哉
幕吏狼狽入候、條約等之事内難も不可測候、上田
ハ長談如何之事ニ候哉、天下之弊ハ詰り國家ニも及
候事と存候

一、先日之御草案、前便為登候へき
一、除目御申聞、一通りと相見候、楊進引込候由、俣

之事不平ニてハ楊進ニも似合不申候、聖賢之書も讀
候事故、右様之事ニ不平を抱候而ハ不相濟候、御忠
告可然候、已上
六月廿三日認
政次郎様
恒藏

76

(一)本多忠民か。忠民は安政五年六月二十六日、京都所
司代を免ぜられ、万延元年六月二十五日、老中に任命
されている。安政五年六月二十五日、徳川慶福を継
嗣と定む。老中脇坂安宅を西丸附に任命(統徳川実
紀)「維新史料編纂」忠民補任記事は記載されてい
ないが、同日登營の慶福と対願している。
(二)安政五年二、四月、老中堀田正睦が上洛、日米条約勅
許を奏請した際、本多忠民が京都所司代として共に
尽力したことを指すか。
(三)安政五年六月十七日、ハリス、軍艦ボーハタン号に乗
船、下田を発して小湊(武蔵国久良岐郡)沖に来る。
(四)安政五年六月二十日、ブチャナン、下田より神奈川
沖に来る。条約調印を迫る。
(五)安政五年六月十九日、日米修好通商条約調印。

◎目次◎

【翻刻】

弘化元年〜文久三年・年未詳
計四〇八通

【解題】

会沢正志齋書簡の
来歴について

(飯塚一幸)

会沢正志齋の政治思想と
著作出版事情

(奈良勝司)

組見本

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	会沢正志齋書簡集	本体11,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1828-8
お名前		tel	本書HPのQRコード	
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎			

徳川社会と日本の近代化

笠谷和比古編

19世紀アジアにおいて、日本が欧米列強の植民地にならず社会の近代化を達成しえた因は、徳川日本の文明史的力量にあったのか…。徳川社会はどのような力powerを、いかにして形成しえたのか、多分野の研究者の書き下ろし論文25本により総合的に究明する。

▶A5判・730頁／本体9,800円(税別) ISBN978-4-7842-1800-4

幕末期の老中と情報

佐藤隆一著

水野忠精による風聞探索活動を中心に水野忠精を題材とした老中の情報収集を軸に、同時代の他の事例も交えて、幕末期の老中による政治情報収集の実態とその情報内容、さらにはこれらの扱われ方を実証的に分析することで、基本的な老中の情報収集ルートの枠組を明らかにする。敗者となった幕閣の政治活動にも一定の歴史的評価を与える。

▶A5判・520頁／本体9,500円(税別) ISBN978-4-7842-1702-1

近世国家の教育思想

本山幸彦著

徳川幕藩体制期の教育政策を縦覧し、政治・経済・社会の諸条件と関連させながら、政治と教育の関係を明かす。また、幕府・諸藩の教育機関設立の趣旨、幕臣や藩士に対する奨学の論旨、教育機関発達の諸条件など、体制の維持・存続・強化のための教育思想・施策の具体像を明らかにする。

▶A5判・296頁／本体7,000円(税別) ISBN4-7842-1069-5

熊沢蕃山思想の冒険

山田芳則著

近世農村社会に存在した多様な内容・水準を持つ教育の構造と、その構造がいかなる社会的背景、過程を経て変容していったのかを明らかにする。【内容】近世の社会構造と分限教育論／吉武法令の学問観と彼の教育活動／峯平蔵と信奈塾／法命系私塾の教育内容とその性格／村役人層における文化・教育構造の変容 ほか

▶A5判・218頁／本体5,000円(税別) ISBN978-4-7842-1783-0

※近世地域教育史の研究

木村政伸著

近世農村社会に存在した多様な内容・水準を持つ教育の構造と、その構造がいかなる社会的背景、過程を経て変容していったのかを明らかにする。【内容】近世の社会構造と分限教育論／吉武法令の学問観と彼の教育活動／峯平蔵と信奈塾／法命系私塾の教育内容とその性格／村役人層における文化・教育構造の変容 ほか

▶A5判・290頁／本体5,700円(税別) ISBN4-7842-1274-4

思想史における近世

柴田純著

個人と社会、主観と客観の相剋に挑む新鋭の問題作。【内容】近世思想史研究の課題と方法／近世前期における学文の歴史的位置／那波活所の思想／那波活所と徳川頼宣／徳川頼宣の藩教学思想／近世における法と理／近世初頭の社会と儒者／思想史における近世／宋明学を受容した日本型中華意識

▶A5判・310頁／本体5,800円(税別) ISBN4-7842-0650-7

※藤原惺窩集 [全2冊]

太田兵三郎他編

昭和16年「海潮音」の主幹太田兵三郎の編修で、国民精神文化研究所から儒教思想史研究資料の一つとして刊行されたものの復刻。光圀校訂の惺窩先生文集、羅山編の惺窩文集のほか、自筆草稿、日記残簡など、惺窩に関するあらゆる史料を収録。羅山・各所ら藤門四天王を育てた日本儒学の祖惺窩の唯一無二の重要史料。

▶A5判・総1024頁／本体12,000円(税別) ISBN4-7842-0368-0

徂徠学の史的研究

今中寛司著

第一章においては、新史料「徂徠先生年譜細君墓表一卷」、徂徠自筆『勝覚寺縁起』により徂徠の前半生を明らかにし、第二章では徂徠学における「古文辞」の学と、それを生み出した私塾護園について論じ、第三章において徂徠の業績と評価を総合的にまとめる。

▶A5判・424頁／本体12,000円(税別) ISBN4-7842-0737-6

※一八世紀日本の文化状況と国際環境

笠谷和比古編

日本の18世紀の文化的状況はいかに形成され、それらは東アジア世界、また西洋世界までふくめたグローバルな環境下で、いかに影響を受けつつ独自の展開を示したか。多角的にアプローチした国際日本文化研究センターでの共同研究の成果23篇。

▶A5判・582頁／本体8,500円(税別) ISBN978-4-7842-1580-5

明治維新期の政治文化

佐々木亮編

“19世紀における国際環境の中で、明治維新を考える”という京都大学人文科学研究所の共同研究「明治維新期の社会と情報」の研究結果をまとめたもの。政治史、文化史、思想史、精神史を融合した“政治文化”という視点から、明治維新期の諸問題にアプローチを試みた一書。

▶A5判・390頁／本体5,400円(税別) ISBN4-7842-1262-0

※近世儒者の思想挑戦

本山幸彦著

江戸開府から大政奉還までの近世265年間の、成立・安定・動揺・崩壊の4期に分け、各時代の代表的儒者・思想家である林羅山・熊沢蕃山・貝原益軒・荻生徂徠・佐久間象山・横井小楠をとりあげ、彼らが直面した時代の課題にいかに解決の道を見出そうとしたのか、その思想的な営みの足跡に迫る。

▶A5判・314頁／本体7,500円(税別) ISBN4-7842-1304-X

※近世私塾の研究

海原徹著

広瀬淡窓、本居宣長、杉田玄白、シーボルト、緒方洪庵、藤田幽谷・東湖、月性、吉田松陰など近世の代表的な私塾の動態と人的交流を多方面から総合的かつ体系的に解明・分析し、その果たした役割と意義を探り、近代への胎動を追求した初の本格的な研究書。写真・図版多数収録。

▶A5判・650頁／本体14,000円(税別) ISBN4-7842-0747-3

※近世日本積奠の研究

須藤敏夫著

積奠(せきてん)とは、孔子をはじめとする儒教の先哲を先聖・先師として祭る祭儀、近世においては林家聖堂や藩校において行われた学芸奨励の重要行事であった。幕府および諸藩における実態を詳細に調べ、積奠儀礼の盛衰を明かす。近世教育史および儒学・思想史研究の空白を埋める、積奠研究の第一人者による他に類書のない初の体系的研究。

▶A5判・340頁／本体8,000円(税別) ISBN4-7842-1070-9

知の伝達メディアの歴史研究

辻本雅史編

本書では、「教育」を「知の伝達」ととらえなおし、その伝達のための媒体を「メディア」と規定することで、これまでのような、学校を中心とした教育史像ではなく、学校を含みながらも、学校を越えたところでなされる人間形成の営みを、全体としてとらえなおす視点を提示する。

▶A5判・300頁／本体5,700円(税別) ISBN978-4-7842-1500-3

※広瀬旭荘全集 [全12巻・別巻1]

中村幸彦・多治比郁夫・岡村繁・中野三敏・井上敏幸編

江戸末期折衷派の儒者、広瀬旭荘の幕末(天保4-文久3)31年間の日記(日間瑣事備忘)を中心に、詩文・随筆・書簡まで全て網羅した。ことに日記は幕末各分野の実態と動向を伝える生きた資料であり、各界の名家がことごとく登場し、その詳細な記録に興味はつきない。

※書簡・伝記資料編(全1巻)と別巻(総索引)は未刊
▶B5判・平均560頁／既刊揃本体172,000円(税別)

※幕末・明治期の儒学思想の変遷

山田芳則著

山田方谷、阪谷朗盧ら主に吉備地方の思想家10名をとりあげ、幕末期の儒学思想の特質、近代西洋文明との接触による儒学思想の変容、明治期の儒学思想の課題、さらに儒学批判を通じた明治期における西洋思想形成の過程を解明し、儒学が果たした地域的役割をも考察する。

▶A5判・258頁／本体5,600円(税別) ISBN4-7842-0982-4

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。